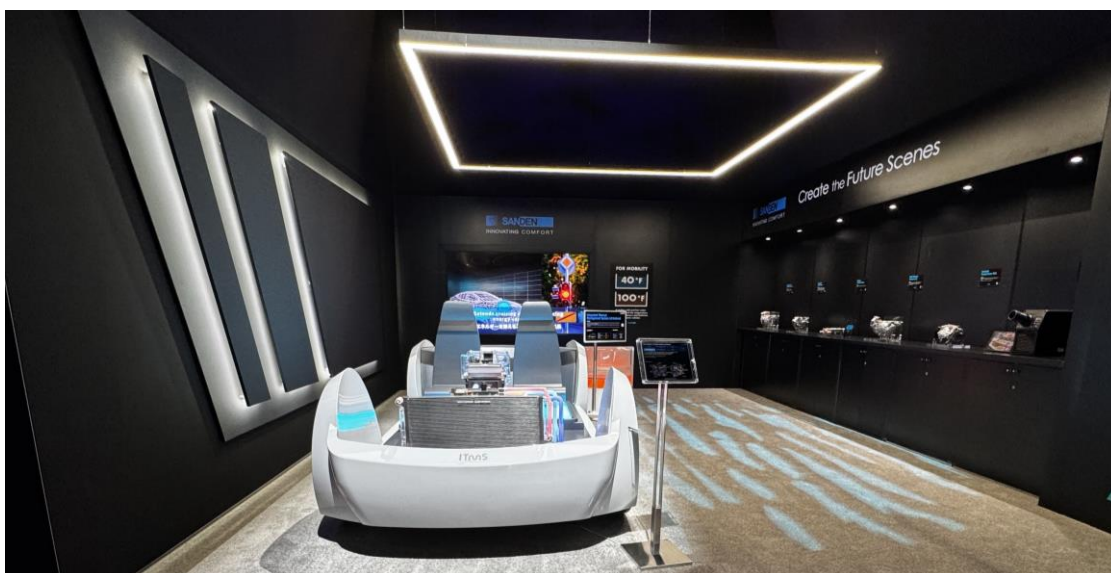


米国・ラスベガスで行われた CES 2025 に出展しました スマート社会で熱マネが実現可能な技術を展示

サンデン株式会社は、2025年1月7日から10日まで米国ラスベガスで開催された「CES 2025」において、中国・山東省青島に本社を構えるハイセンス社と共同出展しました。2年連続の出展となった CES は、世界最大級の家電・IT 見本市であり、今年は過去最大規模となる 4,500 社の企業が出展し、来場者数は 14 万人を超えました。弊社ブースにお立ち寄りいただいた皆様に、心より御礼申し上げます。



◆展示の概要

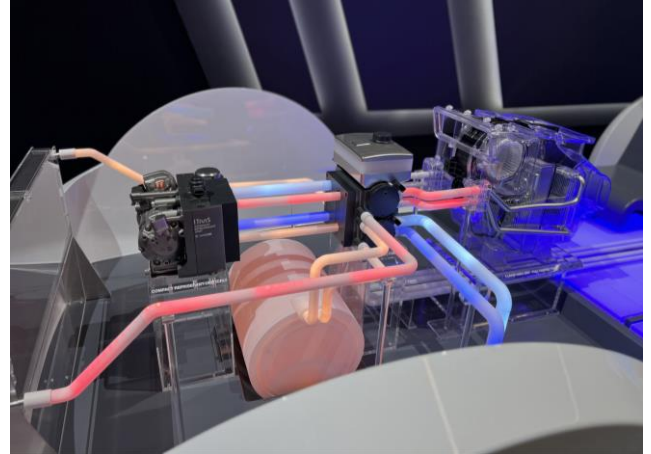
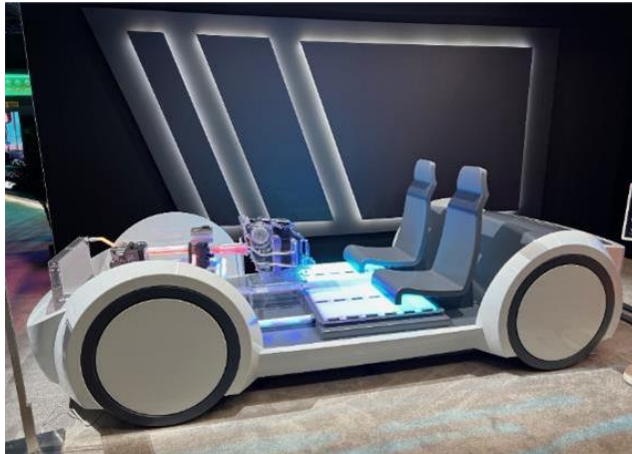
当社は、ハイセンスグループと共同で「AI Your Life」をテーマに出展しました。本展示では、業界を超えた AI 技術の応用と革新的な活用事例を紹介しました。特に、電気自動車直面する課題の解決策を提案するとともに、スマート社会においてカーエレクトロニクスがもたらす利便性の高い技術についてもご紹介しました。



◆展示内容について

本展示のメインは、当社のコアテクノロジーである「ITMS (Integrated Thermal Management System = 統合熱マネジメントシステム) 3.0」のモックアップであり、CES において初披露となりました。実車サイズの車両を模した展示台に ITMS を搭載し、HVAC など一部を透明化することで、システムの動作を可視化しました。

さらに、モーターやバッテリーの温度変化を電飾の色の変化によって表現することで、車両内における熱の回収プロセスや、温風・冷風の生成メカニズムを直感的に理解いただける展示となりました。



ITMS 3.0 は、エンジン廃熱を利用できない電気自動車において、限られた熱エネルギーを統合的に管理し、効率的に活用する技術です。モーター、バッテリー、空調の熱を一元的に制御することで、航続距離の低下を抑えつつ、乗員の快適性を向上させます。さらに、冷媒ユニットと水を熱交換するインダイレクトシステムを採用することで、冷媒の使用量を最小限に抑えながら、安全性の向上も実現しています。

◆スマート社会における ITMS の可能性 (ITMS が実現する未来)

ITMS が持つ高度な熱マネジメント技術と、今後の AI 技術の発展を組み合わせることで、未来の生活シーンに新たな価値を提供できる可能性が広がります。当社では、この分野の研究開発を積極的に推進しています。

<ITMS による価値創出の具体例>

- 信号機の情報を取得し、停車タイミングを予測。バッテリー冷却を自動調整することで走行距離を延長
- 加熱と冷却を同時に制御し、座席ごとに個別空調を実現
- 起床時刻や出発時刻を予測し、空調などの車両準備を自動化
- 災害時などに温水を車外に供給し、足湯や飲料の加温に活用

当社ブースには、自動車メーカーや自動車部品メーカーに加え、総合家電メーカー、コンサルティング企業、さらには熱マネジメント技術に関心を持つベンチャー企業など、幅広い業種の方々にご来場いただきました。本技術の多様な応用可能性について、多くのご関心をいただく機会となりました。



本件に対するお問い合わせ
サンデン株式会社
総務本部 グローバル総務セクション (広報)
sdhd.prcsr.jp@g-sanden.com
